

第1回 学校運営協議会 記録

	学校名	横手市立平鹿中学校	
開催日時・時間・場所	令和6年5月21日（火）・午後3時～ ・平鹿中学校会議室		
出席者数	5名	欠席者数	4名
協議案件	・ 令和6年度コミュニティ・スクール基本構想について ・ 今年度の学校行事と地域協働活動について ・ 意見交換		
協議の主な内容	【コミュニティ・スクール基本構想、グランドデザインについて】 ・ 日々の生活の中でたくましく成長してもらいたい。小さいことでも良いので成功体験を得てほしい。 ・ 不登校の子どもたちにもたくましく育ってもらいたい。学校だけが学びの場ではない。学びを切らないような活動を続けたい。 ・ HIRAKA TRY Angleは、平鹿地区3小学校とも連携して実施している。 ・ 学校内外の様々な取組から発達支持的生徒指導を推進していきたい。 <委員より> ○生徒数は減っているが時代の変化等で教員への負担も大きくなっていると感じている。学校側からも手厚いサポートをしていただきたい。 ○昔と全然違う教育環境だと思うので、先生が目がなくても子供たち自身がたくましく成長できるような教育をお願いしたい。 【学校行事と地域協働活動について】 ・ 5月15日に2年生の職場体験活動をアスカフーズ様等を含め、24企業様にご協力いただいた。今年度は、暑さ対策のため5月の実施とした。 ・ 総合的な学習の時間「創学」では、文化の継承、担い手不足など地域の課題を子供たちが考え、12/2輝きトーク全校発表会で発表する。 ・ ボランティア活動は、部活で忙しい生徒が多く、全員がボランティア活動へ参加できていないことが課題である。 ・ 学校祭で地域のお店をよんで、地区交流と合わせて職場体験も行えたら良いと考えている。 ・ 地域住民への学校報の配布（全戸配布）も検討したい。		

○これまでの取り組みを継続し、今後、実践につなげられそうなこと ●時間をかけて慎重に協議をしなければならないこと ☆今後の取組への提言等	<委員より> ○今年は、6/22、23、29、30にイベントを企画しているので、平鹿中生にボランティアをお願いしたい。平鹿町を代表する祭りなので、子供たちには見に行くだけでなく、祭りに見て触れて、体験してもらいたい。 【意見交換】 ☆自身の体験から、不登校の子供へのフォローはもちろん大事なことが、不登校の子供の親に対してのフォローも大切だと思う。（子どもとの付き合い方、子ども同級生の親との付き合い方などストレスが多くかかる）不登校の親にしかわからないことがあるので、学校に窓口（不登校の親同士が話せるような場）があると大変助かる。→平鹿中にはスクールカウンセラーがいるので、まずはカウンセラーを窓口をとして相談してもらうことは可能である。保護者同士のネットワークも活かしつつ子どもと親のケアに努めたい。醍醐地区交流センター内に南かがやき教室もあるのでそちらにも相談してみたい。 【その他】 ○12/2に輝きトーク全校発表会の際にそれぞれの職業のプロに意見、お話ししてもらうことは可能か？創学（授業）の際に講師もお願いできたらありがたい。 ○学校と委員のやりとりに関し、委員間の連絡網があれば良いと思った。
次回の連絡	12月2日（月）に総合的な学習の時間の発表会「輝きトーク全校発表会」を参観していただく予定。 内容：これまでの取組の報告と評価、今後の地域協働活動の予定等の協議
記録者	平鹿中学校 教頭 長崎 晋